

## I 学校経営方針

### 1 学校教育目標

豊かな人間性と確かな感性を持ち、たくましく生きる生徒の育成

### 2 目指す学校像

みんなが安心して過ごせる居心地の良い学校

### 3 目指す子ども像

確かな学力を身につけた生徒

あいさつができる生徒

時間を守れる生徒

健康安全・命を大切にする生徒

## II 現状と課題

### 1 学力保障

数年来、基礎学力の定着に重点を置き、確かな学力を身につけた生徒の育成を研究主題として授業づくりに取り組み、授業改善を進めてきた。ところが、昨年度の課題として「基礎的知識が定着していない生徒、勉強に興味関心がない生徒に対するわかりやすい、魅力的な授業づくり」「落ち着いて授業にのぞむための授業規律、マナーの確立」などが挙げられた。そこで、今年度も授業研究を中心にして、基礎学力を身につけさせる学習体験の構築を目指す。

### 2 豊かな人間性の育成

お互いの個性を尊重し、より良く生きようとする生徒の育成を目指し人権学習等を推進してきた。しかし、生徒の中に「相手の気持ちを考えない心ない発言」や、「問題行動を見て見ぬふりする」などの様子がいまだに多少見受けられる。

そこで、今年度も「仲間づくり」「生徒が主体的に取り組む人権学習」「教職員研修の充実」を通して、仲間とともによりよく生きようとする生徒の育成を目指す。

また、外国籍生徒との交流を密にし、生徒理解に努める。

### 3 生徒指導

大多数の生徒は、落ち着いた学校生活を送っているが、基本的な生活習慣が身につけていない生徒・規範意識の低い生徒が若干見受けられる。一部の生徒が問題行動を繰り返していることも多い。また、怠学・不登校生徒が増加傾向にある。

今年度も「基本的な生活習慣」「規範意識」を身につけさせる指導の推進とともに、関係機関やスクールカウンセラーと連携を取りながら「規律ある生活」「楽しく安心安全な学校づくり」を目指す。

また、生徒会においては、生徒全体で行う日常生活や委員会活動の充実を図る。

#### 4 開かれた学校づくり

人権教育の取り組みや授業公開、学校・学年通信、ホームページ等により、学校の様子を積極的に発信している。授業公開等で保護者の来校数も増加傾向にあるが、保護者・地域との連携・協働の機会を模索するなどして、より充実を目指す。

### Ⅲ 中長期的重点目標

#### 1 学力保障

(1) 基礎的基本的な知識及び技能の習得

基礎学力を身につけるため、少人数指導を含めた学習体験の構築に努めるとともに、授業規律の徹底を図り、授業秩序の確立に努める。

(2) 家庭学習の定着

学習課題の出し方、その課題解決のためのアドバイス、課題提出後の点検・評価等について検討する。あわせて、家庭と連携をとり協力体制を構築しながら、家庭学習の習慣化に努める。

(3) 個別指導

各教科でつまずきのある生徒・低学力の生徒を対象に学習ボランティア等を活用しながら、補充学習、取り出し授業等を検討し、きめ細やかなはたらきかけに努める。

(4) キャリア教育

道徳・学活・総合的な学習の時間を利用し、系統的・体系的な進路学習を行う。

(5) 特別支援教育

特別支援が必要な生徒に応じた教育の推進に努める。

#### 2 豊かな人間性の育成

(1) 自分や仲間を大切にし、よりよく生きようとする生徒の育成に努める。

(2) 多文化共生教育の充実を図り、外国籍生徒の理解を深める。

#### 3 生徒指導

(1) 基本的な生活習慣（特にあいさつ）がしっかり身についた生徒の育成に努める。

(2) ルール・マナーを守れる生徒の育成に努める。

(3) 時間を守れる生徒の育成に努める。

(4) 専門機関との連携を深め、生徒の状況把握に努める。

(5) 生徒会活動を通して、自主性を養い、生徒相互の連携を深める。

#### 4 開かれた学校づくり

(1) 保護者・地域との連携を深め、学校の様子等を情報発信する。

(2) 保護者・地域との対話等により、学校に対する意見等を得て、より開かれた学校づくりを目指す。

(3) 各種アンケート等により、学校を診断していただく。

## IV 本年度の行動計画（手だてと指標）

### 1 学力保障

#### （1）授業改革・授業研究

- ① 二極化の解消にむけて、授業研究を進める。
- ② 年3回の授業研究と全職員の授業見学に取り組む。
- ③ シラバスを生徒に配布し、学習への取り組み方を説明する。
- ④ 必達目標を設定し、生徒の到達度を検証したり、CRTを分析したりして、授業改善に取り組む。

#### （2）少人数指導

- ① 各学年とも少人数学級編成に取り組む。
- ② 全学年数学においてTTを実施する。
- ③ 取り出し授業により、困り感のある生徒、低学力生徒等の学習を保障する。

#### （3）学習ボランティアの活用

- ① 教育実習生に協力してもらおう。
- ② 校区内小学校の先生の協力を仰ぐ。
- ③ 「夢工房」の講師を活用する。
- ④ 車椅子体験、いのちの出前講座など、福祉体験学習を行う。

#### （4）補充学習

- ① 学習支援が必要な生徒のために、定期テスト前に補充学習を実施する。
- ② 「ひらたの〜と」を使って、家庭学習の習慣化に取り組む。

#### （5）キャリア教育

- ① 高校の先生による出前講座を年3回実施する。
- ② 「ようこそ先輩」事業を実施する。
- ③ 職業体験学習を実施し、職業選択に役立てる。
- ④ 組織的・体系的な進路学習を行う。

#### （6）特別支援教育

- ① 個別支援の推進を図る。
- ② 支援システムの構築。
- ③ きめ細かい情報交換と指導内容の検討。

### 2 豊かな人間性の育成

#### （1）人権教育

- ① 各学年別指導計画を作成し、実践する。
  - ・仲間づくりと人権作文（文化祭での人権作文発表）
  - ・人権学習（出会い学習や参加型体験学習を取り入れる）
  - ・人権メッセージ

- ・人権アンケート

- ② 指導資料の収集および整理を行う。
- ③ 教職員に対して、人権教育関係の各種研修会への参加を呼びかけ、教職員研修を充実させる。

## (2) 多文化共生教育

- ① 定期的な部会の開催（月別行事予定に月一回の会議の日を入れる）。
- ② 情報交換により、個別対応内容を検討する。
- ③ 平田野中学校区内小学校との定期的な情報交換を開催（年数回程度）する。
- ④ 外国人生徒と保護者対象の進路ガイダンスを実施する。
- ⑤ 長期休業中に補充学習を実施する。
- ⑥ 取り出しによる日本語指導の充実を図る。

## 3 生徒指導

### (1) 生徒指導

- ① あいさつ、返事や正しい言葉づかいの指導。
  - ・あいさつ運動の推進と全校・学年集会等での指導
- ② 規範意識を育てる指導。
  - ・学活、道徳等での指導
  - ・喫煙、万引き等に関する非行防止教室の開催
- ③ 時間を守らせる指導。
  - ・全職員による毎朝の登校指導
  - ・職員の授業時間（開始・終了）の徹底
  - ・チャイム着席の徹底

### (2) 教育相談

- ① 教育相談を学期に一度行う。
- ② 登校することだけを目標にするのではなく、個々にあった対応を考えていく。（チャレンジ的な登校、教育研究所、各機関等）
- ③ 不登校生徒宅への家庭訪問を定期的に行い、保護者・本人との連携を密にする。

### (3) 生徒会

- ① あいさつ運動を月二回行う。
- ② 定期的に委員会を行い、各委員会の活動の活性化を図る。
- ③ 各委員会や各学年の室長会と協力し、生徒が主体的に企画・運営をする。
- ④ ヘルメット着用や交通安全の呼びかけを継続し、ヘルメットかぶろう運動にむけた取組を行う。
- ⑤ 「ひらっぴー」を用いて呼びかけを行い、いじめ根絶に向けた活動を充実する。

## 4 開かれた学校づくり

- ① 学校・学年通信、ホームページにより、学校の様子を積極的に発信する。なお、学校通信は地域にも回覧する。

- ② 学校公開日を学期に一回は設定するなど、保護者が学校に来やすい環境を作る。
- ③ 学校支援ボランティアを募り、活動を開始する。

学校教育目標  
目指す学校像  
目指す子ども像

豊かな人間性と確かな感性を持ち、たくましく生きる生徒の育成  
みんなが安心して過ごせる居心地の良い学校  
確かな学力を身につけた生徒  
あいさつができる生徒  
健康安全・命を大切にする生徒

## 学力保障

中長期的  
重点目標

基礎的基本的な知識  
および技能の習得

家庭学習  
の定着

個別  
指導

キャリア  
教育

特別支援  
教育

本年度の  
行動計画

### 授業改革・授業研究

- ①二極化解消への授業研究推進
- ②授業研究（年3回）と全職員の授業見学
- ③シラバスによる学習への取り組み方説明
- ④必達目標の到達度検証やC R T分析による授業改善

### 少人数指導

- ①全学年の少人数学級編成
- ②全学年が数学科においてT T授業実施
- ③取り出し授業による学習保障

### 学習ボランティアの活用

- ①教育実習生への協力要請
- ②校区内小学校の先生への協力依頼
- ③「夢工房」の講師の活用
- ④車椅子体験・いのちの出前講座等の福祉体験学習

### 家庭学習の習慣化

- ①「ひらたの〜と」の使用

### 補充学習

- ①学習支援を必要とする生徒に定期テスト前に実施

### キャリア教育

- ①高校の先生による出前講座（年3回）の実施
- ②「ようこそ先輩」の実施
- ③職業体験学習の実施
- ④組織的・体系的な進路学習の推進

### 特別支援教育

- ①個別支援の推進
- ②支援システムの構築
- ③きめ細かい情報交換と指導内容の検討

## 豊かな人間性の育成

中長期的  
重点目標

### 人権教育

自分や仲間を大切にし、よりよく  
生きようとする生徒の育成

本年度の  
行動計画

- ①学年別指導計画の作成・実践  
・仲間づくりと人権作文  
・人権学習（出会い学習・参加型学習）  
・人権メッセージ  
・人権アンケート
- ②指導資料の収集・整理
- ③教職員研修の充実（研修会参加等）

### 多文化共生教育

多文化共生教育の充実を図り、  
外国籍生徒の理解を深める

- ①定期的な部会の開催
- ②情報交換による個別対応内容の検討
- ③校区内小学校との定期的な情報交換会の実施
- ④外国籍生徒・保護者対象の進路ガイダンスの実施
- ⑤長期休業中の補充学習の実施
- ⑥取り出し授業による日本語指導の充実

# 生徒指導

## 中長期的 重点目標

### 生徒指導

- ・基本的生活習慣（特にあいさつ）がしっかり身についた生徒の育成
- ・ルール・マナーを守る生徒の育成
- ・時間を守る生徒の育成

### 教育相談

専門機関との連会を深め、生徒の状況把握に努める

### 生徒会

生徒会活動を通して自主性を養い、生徒相互の連携を深める

## 本年度の 行動計画

- ①あいさつ・返事や正しい言葉づかいの指導
  - ・あいさつ運動の推進と集会等での指導
- ②規範意識が育つ指導
  - ・学活、道徳での指導
  - ・喫煙、万引き等に関する非行防止教室の開催
- ③時間を守る指導
  - ・全職員による毎朝の登校指導
  - ・職員の授業時間（開始・終了）の徹底
  - ・チャイム着席の徹底

- ①学期に一度、教育相談を実施
- ②不登校生徒の個々にあつた対応を考える（チャレンジ登校、教育研究所等）
- ③不登校生徒宅への定期的な家庭訪問により保護者、本人との連携を密にする

- ①月2回のあいさつ運動の実施
- ②各委員会の定期開催等、委員会活動の活性化を図る
- ③各委員会や室長会と協力し、生徒が主体的に企画・運営する
- ④ヘルメット着用や交通安全の呼びかけを継続し、ヘルメットかぶろう運動に向けて取り組む
- ⑤ひらっぴーを用いて呼びかけを行いいじめ根絶に向けた活動を充実する

# 開かれた学校づくり

## 中長期的 重点目標

- ・保護者・地域との連携を深め、学校の様子等を情報発信する
- ・保護者・地域との対話等により、学校に対する意見等を得て、より開かれた学校づくりを目指す
- ・各種アンケート等により、学校を診断していただく

## 本年度の 行動計画

- ①学校・学年通信、ホームページ等により、学校の様子を積極的に発信する。なお、学校通信は地域にも回覧する。
- ②学校公開日を学期に一回は設定するなど、保護者が学校に来やすい環境を作る
- ③学校支援ボランティアを募り、活動を開始する